

# “きび考”

2015年(平成27年2月) 第11号

先史古代研究会

# “きび考” 2015(平成 27)年 第 11 号 目 次

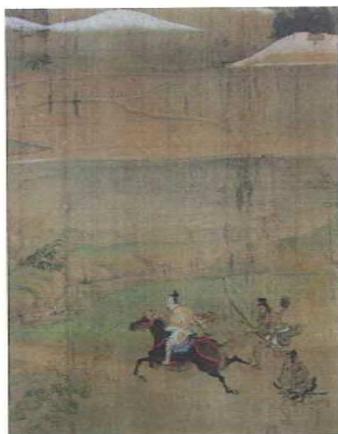
	ページ
○“たたら”(踏鞴)と地名	特別寄稿 浦上 宏……………2
○中国と漢字伝来の時代	矢吹壽年……………7
○高島から「子妊石」の現状 藪田氏からの手紙	山崎泰二……………12
○大廻り・小廻り山	丸谷憲二……………13
○連載＝四国八十八ヶ所めぐり「歩き遍路の旅」 9	樋口俊介……………16
○私の歩き遍路	特別寄稿 重康邦夫……………22
○宇喜多氏から備前池田氏への展開	井上秀男……………23
○”ねぶた”一人旅	濱手英之……………29
○『日本語で生きよう』(2)	山崎泰二……………31
○例会報告 25・26 年度	丸谷憲二……………40
○第9回例会案内 編集後記	編 者……………41

## 仲間のトピックスコーナー

### 1278 年の熊山遺跡の絵発見

弘安元年(1278年)の一遍聖絵に熊山遺跡が描かれていました。発見者は、備前福岡観光ボランティアガイドの皆様です。備前福岡郷土館では、一遍聖絵「福岡の市」デジタル版を拡大表示して熊山遺跡であると、お客様に説明しています。中西厚、丸谷憲二会員が一遍聖絵を調査し、「一遍聖絵の原本に熊山遺跡が描かれていた」という報告書を寄稿してくれました。きび考 12 号で報告します。

歓喜光寺蔵の『一遍聖絵』と清浄光寺蔵を比較すると、熊山遺跡の描写が絵師により少し異なります。原本に熊山遺跡が描かれていました。しかし、転写した絵師が熊山遺跡を知らなければ、このように変化した絵になります。「原本に熊山遺跡が描かれていました。」と報告します。丸谷記



歓喜光寺蔵

清浄光寺蔵